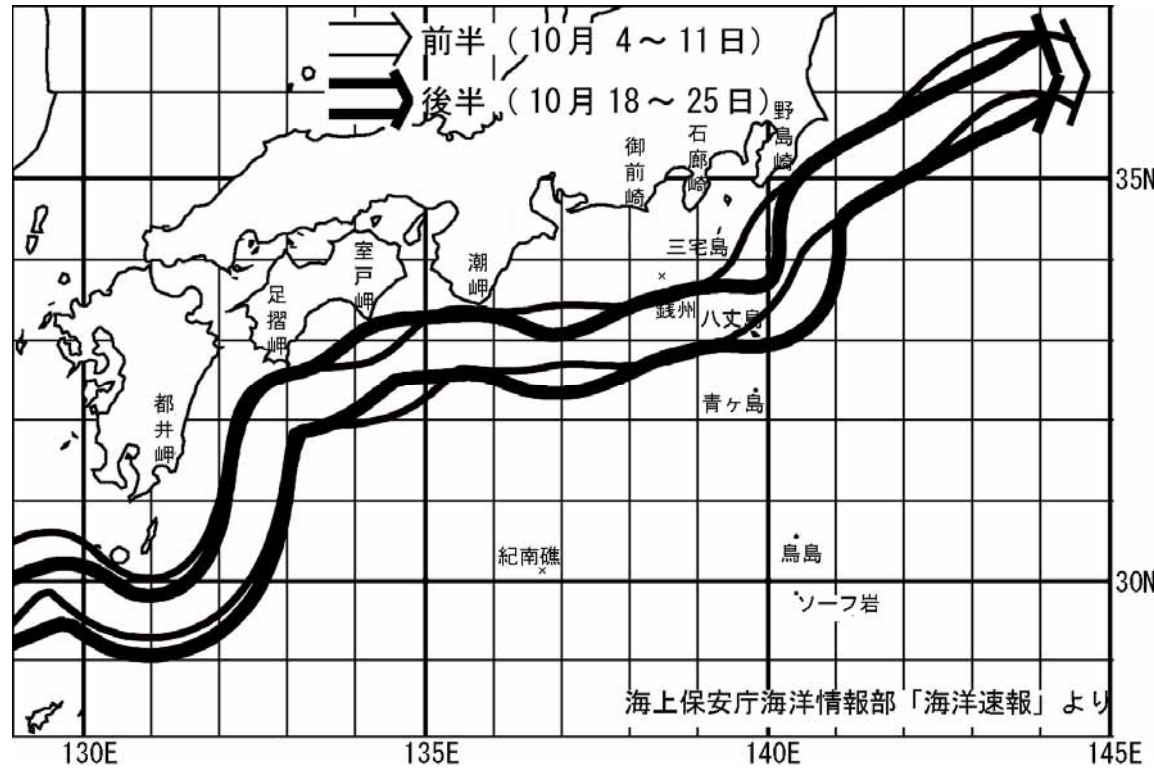


# 漁海況月報

平成24年10月1日

No. 10 ~10月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 ( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	23.8	24.4	24.6	24.6	24.4	24.8	24.5
	1.7	1.3	1.6	1.0	1.4	2.3	2.1
中旬	22.9	23.1	23.3	23.1	22.7	23.5	22.4
	1.4	0.7	1.1	0.2	0.3	1.8	1.1
下旬	22.0	22.4	22.2	21.9	21.8	22.3	20.7
	1.3	0.8	0.9	-0.2	0.4	1.5	0.6
月	22.9	23.3	23.4	23.1	22.9	23.5	22.4
	1.5	1.0	1.2	0.3	0.7	1.9	1.2

## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、室戸岬で小蛇行して潮岬で接岸した後、遠州灘沖の33.5°Nを東に進み三宅島～八丈島の間を通過後、房総半島沖へ流れた。後半は、室戸岬の小蛇行が東進して熊野灘で小蛇行し、八丈島付近を通過後、房総半島沖へ流れた。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、上旬に全域で高めとなり、その後伊豆東岸および駿河湾西部では高めで推移した。駿河湾東部では、中旬以降は平年並みとなった。

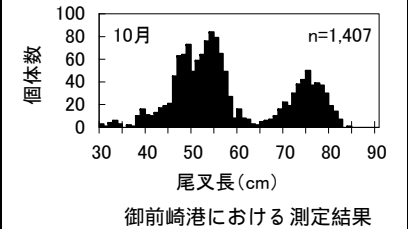
## 【竿釣近海カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は41トで前年同期の105%であった。魚価は372円/kgで、前年同期を下回った。

静岡県近海では33°30'N、140°E付近の新黒瀬等で中(尾叉長54cmモード)、小(尾叉長49cmモード)、特特大(尾叉長75cmモード)カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	水揚/隻(ト)	平均単価(円/kg)
24年10月上旬	18	6	3.0	272
中旬	8	5	1.6	670
下旬	15	7	2.1	338
24年10月計	41	18	2.3	372
23年10月計	39	18	2.2	513
22年10月計	63	24	2.6	244



## 【定量網】

伊豆半島東岸大型定量網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は350トで、前年同期の同漁場の水揚量(420ト)の0.8倍、平年値(昭和57～平成23年)330トの1.1倍となった。

魚種別では、①サバ類(サバッコを除く)173.3ト②マルソウダ57.3ト③モロ20.1ト④アカカマス19.3ト⑤イナダ16.5トの順に水揚げされた。

サバ類は尾叉長で24～27cmの大きさのゴマサバを主体に川奈、古網漁場を中心に前年の3.1倍、平年の2.2倍の量が、マルソウダは尾叉長で20～30cmの大きさのものが古網、伊豆山漁場を中心に前年の2.4倍、平年の1.4倍の量が、イナダは尾叉長で50～55cmの大きさのものが伊豆山、古網漁場を中心に前年の19.4倍、平年の4.6倍の量が、それぞれ水揚げされた。

漁場別では、古網86ト(マルソウダ、サバ類、アカカマス主体)、川奈83ト(サバ類、マルソウダ、モロ主体)、伊豆山61ト(サバ類、マルソウダ、イナダ主体)の順に水揚げ量が多かった。

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
サバ類	173.3	3.1	2.2	川奈、古網、富戸
マルソウダ	57.3	2.4	1.4	古網、伊豆山、川奈
モロ	20.1	0.2	1.5	古網、川奈、伊豆山
アカカマス	19.3	7.5	3.9	伊豆山、古網、北川
イナダ	16.5	19.4	4.6	伊豆山、古網、北川

**[サバたもすくい・棒受網]**

小川港には、棒受網によってゴマサバ460トン（前年同月比69%）が水揚げされた。1隻あたり水揚量は28.8トン/隻（前年同月比95%）であった。平均単価は56円/kgで前月（59円）を下回ったが、前年同月（54円）を上回った。

棒受網の漁場は、三本、三宅にゴマサバ主体で形成され、ゴマサバは25cmモードの0歳魚（2012年級群）主体であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
24年10月上旬	0	0	1	2	0	0.2	0	60	汰 茂
中旬	0	207	3	6	0	34.4	0	57	汰
下旬	0	253	4	8	0	31.7	0	55	汰
24年10月計	0	460	8	16	0	28.8	0	56	
23年10月	0	668	10	22	0	30.4	0	54	汰 茂
22年10月	0	690	8	20	0	34.5	0	39	茂

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[サクラエビ船曳網]**

秋漁は、10月29日に初漁となり、漁場探索が行われた。10月は初漁日を含め2日出漁し、水揚量は35.8トンであった。漁場は主に戸田沖と湾西部の焼津～大井川沖に形成された。

漁獲されたサクラエビは、体長30mmにモードを持つ当歳エビと39mmにモードを持つ1歳エビで構成された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成24年10月下旬	35.8	2	平均 298.5	戸田沖、焼津～大井川沖
計	35.8	2	平均 298.5	—
平成23年10月 計	12	1	平均 200	焼津～相良沖
平成22年10月 計	—	—	平均 —	—

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が469kg、遠州灘が580kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は537kgと前年同期(508kg)の106%、平年同期（過去5か年平均：325kg）の165%と前年同期、平年同期を上回った。また、総水揚量は1,212.4トンで前年同期(1,240.8トン)の98%、平年同期（717.1トン）の169%と、前年同期を下回り、平年同期を上回った。平均単価は563円/kgと平年同期（726円/kg）を下回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	125.3	17	221	567	464
舞 阪	284.9	13	602	473	530
福 田	300.6	16	425	707	451
御前崎	94.2	14	139	676	461
吉 田	227.9	20	473	482	596
静 岡	179.7	19	396	454	885
平成24年10月計	1,212.4	99	2,256	537	563
平成23年10月計	1,240.8	107	2,441	508	560
平成22年10月計	887.1	88	2,063	430	582

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。  
平年同期：過去5か年(2007～2011年)平均値

**[まき網]**

小川港のマイワシの水揚げは77.9トンで、10トンを超えたのは4月以来であった（平年同期240.7トン）。沼津港では、マイワシの水揚げは248.1トンで、100トンを超えたのは4月以来であったが（平年同期627.0トン）、カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期もなし）。静浦港ではマイワシの水揚げはなく（平年同期0.56トン）、カタクチイワシの水揚げもなかった（平年同期の水揚げもなし）。伊東港ではマイワシの水揚げは0.01トンであった（平年同期37.2トン）。

※ 平年同期：過去5か年(2007～2011年)平均値

**[調査船の動向]**

駿河丸

10月 2日		MOHT ネット調査	(1日間)
10月 4日	～ 10月 5日	サクラエビ IKMT 調査	(2日間)
10月 9日		公共用水域水質測定調査	(1日間)
10月 11日	～ 10月 12日	地先定点観測	(2日間)
10月 15日	～ 10月 16日	タチウオ漁場調査	(2日間)
10月 22日		シラス調査	(1日間)
10月 24日	～ 10月 25日	サバ標識放流調査	(2日間)
10月 27日		サバ祭り	(1日間)
10月 30日	～ 10月 31日	シラス・ハダカイワシ調査	(2日間)

**静岡県水産技術研究所のホームページ**

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と  
関東・東海海況速報を見ることができます。

